

海外日本語教師基礎研修 申請要領

1 趣旨

本プログラムは、海外の日本語教育機関の教師養成のため、日本語教授経験の短い若手日本語教師を対象に、約6か月間、日本語運用力の向上、基礎的な日本語教授法の習得及び日本理解の深化を目的として、研修を行います。

また、本研修では、中南米地域の日系人対象の日本語教育機関で教える日系人日本語教師向けに、特別条件を設けています。詳細は2ページをご参照ください。

2 プログラム概要

(1) 期間

2020年9月1日～2021年2月26日（予定）

(2) 実施場所

国際交流基金日本語国際センター（埼玉県さいたま市）

(3) 研修内容

来日後のプレースメントテストの結果により、クラス分けを行い、以下の授業を行います。人数や日本語運用力の差を考慮し、場合によっては2つにコースを分けて運営することもあります。

＜日本語＞

さまざまな言語活動を通して、日本語によるコミュニケーション能力を向上させます。

＜日本語教授法＞

日本語教授法に関する基礎的な知識を整理し、模擬授業や自分の教授活動のふり返りを通して、自分の課題に気づき、その解決方法を考えます。

＜日本文化／日本事情＞

日本文化や日本社会の実際に触れ、日本に対する理解を深めます。（地方研修や文化体験のプログラムもあります。）また、クラスメイトとのやりとりを通してさまざまな文化に触れることで自文化を見つめなおし、他者の文化を理解し尊重できるような異文化理解能力を身につけます。

※上記のほか、特別授業や模擬授業のための個別指導などがあります。

(4) 採用予定人数

約40名

3 申請資格

海外で日本語教育を行う教育機関（個人からの申請は受け付けません）。また、参加候補者は、次に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

※対象地域：全世界

- (1) 申請機関と雇用関係にある日本語教師で、帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。なお、申請時点で日本語教師として教育実習中の方は対象としません。
- (2) 日本と国交のある国の国籍を有すること※台湾の方も申請可能です。
- (3) 日本の義務教育（小学校・中学校9年間）を修了していないこと。
- (4) 2019年12月1日時点で、35歳以下を優先。
- (5) 心身ともに研修プログラムへの参加に支障がない状態であること。
- (6) 2019年12月1日時点で、6か月以上5年未満の日本語教授年数を持つこと。（個人教授及び教育実習の期間は除きます。）
- (7) 日本語運用力につき、申請時点で下記のいずれかを満たしていること。

ア 日本語能力試験 N4 程度以上、又は旧日本語能力試験 3 級程度以上（*1）

（日本語能力試験の各レベルの認定の目安は日本語能力試験公式ウェブサイトの「N1～N5：認定の目安」<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html> を参照）

イ JF 日本語教育スタンダードで A2 レベル以上

(JF 日本語教育スタンダードの各レベルの認定の目安は JF 日本語教育スタンダード公式ウェブサイト「JF スタンダード資料 2.レベル基準が知りたい」https://jfstandard.jp/pdf/whole_standard.pdfを参照)

(*1) 今までに日本語能力試験を受験したことのない参加候補者は、本申請要領に別添された日本語力自己診断テストを自分で解いて、その採点結果を申請書の所定の欄に記入してください。記入がない場合は、申請が無効になる場合がありますので、注意してください。

(8) 過去に国際交流基金や日本の大学等において、1か月以上の日本語教師研修を受講していないこと。

【日系特別条件について】

次の要件に該当する機関及び個人については、特別条件が適用されます。

申請資格対象国（アルゼンチン、ウルグアイ、キューバ、コロンビア、チリ、ドミニカ共和国、パラグアイ、ブラジル、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、メキシコ）で日系人を対象に日本語教育を行う教育機関。また、参加候補者は、次に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

ア 申請機関と雇用関係にある日本語教師で帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。なお、申請時点で日本語教師として教育実習中の者は対象としません。

イ 対象国若しくは日本の国籍を有し、生活の基盤が対象国にあること。

ウ 日本からの海外移住者又はその子孫（おおむね日系3世まで）であること。

エ 2019年12月1日時点で、35歳以下を優先。

オ 心身ともに研修プログラムへの参加に支障がない状態であること。

カ 2019年12月1日時点で、6か月以上5年未満の日本語教授年数を持つこと（個人教授及び教育実習の期間は除きます）。

キ 日本語運用力については、「3.申請資格（7）」をご覧ください。

ク 過去に国際交流基金、日本の大学等において1か月以上の日本語教師研修を受講していないこと。

※ 日本の義務教育（小学校・中学校9年間）修了者も対象となります。

4 支給内容

(1) 宿舍（国際交流基金日本語国際センター内のシングルルーム、地方研修中は相部屋の可能性あり）

(2) 研修期間中の食事（一部は現金支給）

(3) 研修に参加するための必要経費（教材等を現物で支給）

(4) 研修参加に必要な期間中の疾病及び傷害に対する海外旅行保険の付保（補償額の上限あり。既往症や歯科治療等は当該保険の適用対象外）及び国民健康保険の付保。

(5) [表1]に掲げる地域にある申請機関に所属する方については、以下ア～ウを国際交流基金が負担します。[表1]以外の地域、及び例外欄に記載のある国・地域に所属機関がある方は、参加者本人の負担となります。

ア 往復航空券（エコノミークラス割引運賃、居住地最寄り国際空港発着）

イ 出国税・空港利用税

ウ 研修補助費（来日中の自主研修に必要な公共交通機関の交通費等を現物で支給）

[表1]

地域	例外の国・地域
アジア・大洋州地域	ただし、韓国、台湾、香港、マカオ、シンガポール、ブルネイ、オーストラリア、ニュージーランドを除く
中南米地域	ただし、セントクリストファー・ネイビス、トリニダード・トバゴ、バハマ、バルバドスを除く
東欧地域	(例外なし)
中東・北アフリカ地域	ただし、アラブ首長国連邦、イスラエル、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、バーレーンを除く
アフリカ地域	(例外なし)

5 審査方針

当該国・地域や機関での日本語教師研修の必要性、申請機関が「さくらネットワーク」の認定機関であるか、候補者の日本語運用力、教授経験の他、候補者のポジション（専任／非専任）、影響力等の観点から審査します。

※ 「JFにほんごネットワーク（さくらネットワーク）」については以下のウェブサイトをご参照ください。
<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/education/network/>

6 申請手続

(1) 申請書

ア 申請書フォーマットは、以下のウェブサイトから入手可能です。

<https://www.jpf.go.jp/j/program/index.html>

イ 申請書は全部で10ページです。申請書の原本とそのコピー1部を、それぞれホッチキス留めをして、提出してください。申請書に不備がある場合は、審査対象とはなりませんので注意してください。

(2) 申請書類提出先と締切

2019年12月2日（必着）

最寄りの国際交流基金海外拠点、又は日本国大使館や総領事館等の在外公館に提出してください。台湾は、（公財）日本台湾交流協会の台北事務所に提出してください。

(3) 申請書類の受理通知

申請書類の受理通知を希望する場合は、はがきに返信用切手を貼付の上、住所、氏名、プログラム名、受理通知を希望する旨を記載して、申請書類と同封してください。国際交流基金海外事務所若しくは日本国大使館・総領事館等の在外公館の担当者が申請書類を受理したことを証するために、署名して返送します。ただし、返信用切手が貼っていないもの、必要事項が記載されていないものは返送できませんので、ご注意ください。

(4) 留意事項

ア e-mailやFAXでの申請書類の提出はお受けしていません。

イ 提出された申請書類は返却いたしません。申請書類を提出する際には、必ず申請者用のコピーをお手元に残しておいてください。

ウ 申請書類提出後、記入内容に変更が生じた場合には、速やかにお知らせください。

エ その他、留意事項は6ページ「申請書作成上の注意」をご覧ください。

7 結果通知

(1) 国際交流基金日本語国際センターで審査を行い、2020年4月中に結果を各申請者に通知します。

(2) 採否理由等についてのお問合せには一切応じられませんので、ご了承ください。

8 研修参加者の義務

研修参加者は以下の条件を守らなければなりません。

(1) 日本滞在中は日本国法令を守ること。

(2) 研修に専念し、日本滞在を他の目的（宗教的あるいは政治的目的等）に利用しないこと。

(3) 研修参加者は、集団での研修に参加することを前提に招へいされたことを理解し、国際交流基金日本語国際センターの指示に従って、全ての研修活動に参加すること。

(4) 研修期間の開始より前に来日しないこと。

(5) 研修期間中に一時帰国や第三国への旅行をしないこと。（ただし、年末年始の自主研修期間に一時帰国することは認められています。）

(6) 国際交流基金日本語国際センターが滞在延長を許可した場合を除き、研修期間が終わり次第、直ちに帰国すること。

(7) 家族を同伴しないこと。

9 事業に関する情報の公開

(1) 採用された場合、申請者・団体の名称、事業の概要等の情報は、国際交流基金事業実績、年報、

ウェブサイト等において公表されます。

- (2) 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」(平成13年法律第140号)に基づく開示請求が国際交流基金に対してなされた場合には、同法に定める不開示情報を除き、提出された申請書類は開示されます。

10 個人情報の取扱い

以下の内容を、申請機関から候補者及び申請書に個人情報が記入されている者にお伝えくださいますようお願いいたします。

- (1) 国際交流基金は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第59号)ほか、各国・地域等の個人情報保護にかかわる法律を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。国際交流基金の個人情報保護への取組については、以下のウェブサイトをご覧ください。
(和) <https://www.jpj.go.jp/j/privacy/> (英) <https://www.jpj.go.jp/e/privacy/>
- (2) 申請書及び添付書類に記入された情報は、採否審査、事業実施、事後評価等の手続のほか、次のような目的で利用します。
- ア 研修参加者の氏名、性別、職業・肩書、所属先、事業期間、事業内容等の情報は、研修実施案内に公表するほか、国際交流基金の事業実績、年報、ウェブサイト等の公表資料への掲載、統計資料作成に利用されます。また、国際交流基金事業の広報のため、報道機関や他団体に提供することがあります。
 - イ 採用者の居住する国の日本国大使館・総領事館等の在外公館及び日本国外務省にも、査証発給のため、これらの情報を提供することがあります。
 - ウ 申請書、添付書類及び事業報告書・成果物などは、採否審査、事後評価等のため、外部有識者等の評価者に提供することがあります。提供する際、評価者の方には、個人情報の安全確保のための措置を講じていただくようにしています。
 - エ 事業終了後に、本件事業に関するフォローアップのためのアンケートをお願いする場合があります。
 - オ 記入される連絡先に、他の国際交流基金事業についてご連絡を差し上げることがあります。
- (3) 国際交流基金に提出された事業報告書・成果物などは、国際交流基金事業の広報のため、公開することがあります。
- (4) 研修実施のため、渡航手配や研修プログラムに協力を得る関係者(保険会社及びその代理店、航空会社、自治体等)に、必要な範囲で情報を提供します。
- (5) 本研修に応募された方は、上記の個人情報の取扱いに同意したものとみなします。

11 問合せ先

- (1) 担当部署

日本語国際センター教師研修チーム Tel. +81-48-834-1182 Fax. +81-48-834-1170

e-mail: urawakenshu@jpf.go.jp

- (2) 海外からの申請

申請に先立ち、必ず最寄りの国際交流基金海外事務所へ電話、E-mail等で、申請書提出先や申請資格の確認を行ってください。国際交流基金の海外事務所が所在しない国においては、日本国大使館・総領事館等の在外公館にご連絡ください。

ア 国際交流基金海外事務所: <https://www.jpj.go.jp/j/world/index.html>

イ 日本国在外公館一覧: <https://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/index.html>

12 その他備考

本公募研修以外に、非公募による国・地域別日本語教師研修として、当該国政府、国際交流基金海外拠点、日本国大使館や総領事館等の在外公館等からの推薦により参加を決定する以下の研修も実施しています。詳細については、各国の国際交流基金海外拠点にお問い合わせください。

- (1) 「大韓民国中等教育日本語教師研修」
(2) 「中国中等教育日本語教師研修」

13 添付資料

日本語運用力自己診断テスト

申請書作成上の注意

- (1) 人名は、パスポートの表記に合わせてご記入ください。パスポートをお持ちでない方については、運転免許証等、当該国における公的な身分証明書の表記に合わせてください。
- (2) 申請書はタイプ又は黒のボールペンを用いて活字体で記入してください。
- (3) 申請書は、「英語」や「原語」等の指示があるところ以外は日本語で記入してください。また、記入にあたって「候補者」部分は、候補者が他の人の助けは借りず、自分の力だけで書いてください。

以上

**海外日本語教師基礎研修
申請書**
**Basic Training Program for Teachers of the Japanese Language
Application Form**

国際交流基金日本語国際センター所長殿 年 月 日
To the Executive Director of the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa Year Month Day

私は令和2年度海外日本語教師基礎研修に下記の者を参加させたく申請いたします。
I hereby recommend the person named below to participate in the 2020-2021 Basic Training Program for Teachers of the Japanese Language.

機関名 代表者の名前
Name of Institution **Name of the Representative of the Institution**

代表者署名
Signature of the Representative of the Institution

「日系特別条件」を使って申請する方は、() に✓を入れてください。
*申請要領「3 申請資格」を参照
Please check ✓ if you apply for the special condition for Japanese descendants.
*Refer to the Application Instructions "3 Eligibility"
() 日系特別条件 **Special condition for Japanese Descendants**

1 候補者について Information about the candidate

名前 Name	漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana	姓 Last Name	名 First Name
	英語 In English alphabet	Last Name	First Name
	パスポートに記載の表記 Name as written on your passport in English alphabet		
性別 Sex		国 Nationality	
生年月日 Date of Birth	年 月 日 Year Month Day	年齢 Age	2019年12月1日現在 As of December 1, 2019 歳 years old
連絡先 (ローマ字) Contact (in English alphabet)			
住所 Address			
Tel.		FAX.	e-mail

	所属日本語教育機関名 Name of the Affiliated Institution	部門名 Faculty/ Department/ Program, etc.	地位 Position	専任/非専任 Full time or Part time
漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana				<input type="checkbox"/> 専任 (Full time) <input type="checkbox"/> 非専任 (Part time)
英語 In English				
原語 In Native Language				
所属日本語教育機関住所 Address of Affiliated Institution				
Tel.		FAX.		
機関 ID ID of affiliated institution _____				
※ 日本語教育機関検索データベース (https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index) にて所属機関の機関 ID を確認の上、記入してください。所属機関が同データベースへ未登録の場合は記入不要です。 * The ID of affiliated institution can be found on the "Search engine for institutions offering Japanese-language education" (https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index). No need to fill this column if your affiliated institution is not registered on the "Search engine".				

最終学歴 Last school attended	機関名 Name of institution				取得地 Location		
	取得年 Year of completion		学位 Degree conferred	<input type="checkbox"/> 学士(Bachelor) <input type="checkbox"/> 修士(Master) <input type="checkbox"/> 博士(Doctor) <input type="checkbox"/> その他(Other) (_____)	専攻 Major		
学位取得論文タイトル (修士号、博士号を取得の場合には必ず記入してください) Thesis title (Required for applicants who have obtained their Masters or Doctoral degrees)							

さくらネットワークに所属していますか? Do you belong to organizations of the Sakura Network?
 For "Sakura Network", please visit the following website;
<https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/education/network/> (Japanese)
<https://www.jpff.go.jp/e/project/japanese/education/network/> (English)

はい Yes
 ⇒ さくらネットワークメンバー (機関、団体) 名: _____
 Name of the Sakura Network member (institution, organization, etc.): _____

いいえ No

日本で義務教育を修了しましたか? はい いいえ
 Did you complete your compulsory education in Japan? Yes No

○運用力についての自己評価 Self-assessment on Japanese language proficiency

自分の日本語運用力を表していると思うレベル(1~5)を選んで1つ✓をつけてください。

Please check ✓ one appropriate box (Level 1~5) that you think represents your Japanese language proficiency.

[日本語運用力レベル/Japanese language proficiency levels]

聞く Listening	Level 1 <input type="checkbox"/>	ゆっくり話してもらえば、自分のことや生活などに関してよく使われることばや基本的なことばが理解できる。 I can recognize basic phrases and familiar words concerning myself and daily life when people speak slowly.
	Level 2 <input type="checkbox"/>	自分の仕事や生活に関してよく使われることばや表現を聞いて理解できる。 I can understand phrases and expressions frequently used in relation to my work and daily life when I hear them.
	Level 3 <input type="checkbox"/>	仕事や生活の場面でよく話題にのぼる話やテレビ番組の内容がだいたい理解できる。 I can understand most discussions on familiar matters regularly encountered in work and daily life, and the content of TV programs.
	Level 4 <input type="checkbox"/>	いろいろなトピックのニュース、映画の内容がほとんど理解できる。 I can understand most movies and TV news covering a variety of topics.
	Level 5 <input type="checkbox"/>	幅広い話題の議論や専門の講義もあまり問題なく理解できる。 I have no difficulty understanding discussions about a wide range of topics and specialized lectures.
読む Reading	Level 1 <input type="checkbox"/>	メニューやウェブサイトなどを見て、よく知っているものや人の名前、簡単なことばがわかる。 When I look at materials, such as menus and websites, I can understand familiar items and names, as well as simple phrases.
	Level 2 <input type="checkbox"/>	短い、簡単な文が理解でき、必要なものや時間などの大事な情報を探することができる。 I can understand short, simple texts. I can find important, required information, such as time.
	Level 3 <input type="checkbox"/>	身近な話題について書かれた、決まった形の文章や手紙が理解できる。 I can understand texts and letters that consist mainly of common everyday language and which relate to familiar topics.
	Level 4 <input type="checkbox"/>	書いた人の意見や立場がわかる記事やレポート、簡単な小説が理解できる。 I can understand articles and reports in which the writers express particular attitudes or viewpoints. I can understand simple novels.
	Level 5 <input type="checkbox"/>	自分の専門に関する長い論文や複雑な小説の内容が理解できる。 I can understand the contents of complex novels and long essays related to my field of specialization.

話す Speaking	Level 1 <input type="checkbox"/>	自分やよく知っている人について簡単なことばで話すことができる。 I can use simple phrases to talk about myself and people I know well.
	Level 2 <input type="checkbox"/>	家族や周囲の人々のこと、これまでの経験などを簡単なことばや文で説明できる。 I can use simple phrases and sentences to describe my family and other people around me, as well as my background.
	Level 3 <input type="checkbox"/>	経験やこれからの予定、やりたいことなどを、基本的な接続のことばを使って説明できる。 I can connect phrases in a simple way in order to describe my background, future plans and ambitions.
	Level 4 <input type="checkbox"/>	関心のある内容について、くわしく説明したり意見やその理由を言うことができる。 I can present detailed descriptions and my viewpoint, and give reasons for my opinions on subjects related to my fields of interest.
	Level 5 <input type="checkbox"/>	研究会などで専門的な話題や複雑な話題について論理的な構成で話すことができる。 At seminars and other events, I can talk about specialized subjects and complex subjects using a logical structure.
会話する (やりとり) Oral interaction	Level 1 <input type="checkbox"/>	相手がゆっくり話してくれれば、自分のことについて簡単なやりとりができる。 When the other party speaks slowly, I can participate in simple communication about myself.
	Level 2 <input type="checkbox"/>	自分のことや仕事などについて、簡単に具体的な情報のやりとりができる。 I can communicate simple and concrete information related to myself and my work.
	Level 3 <input type="checkbox"/>	日常生活の様々な場面で、家族、趣味、仕事など身近な話題の会話を続けることができる。 I can sustain conversations on familiar topics relating to my family, hobbies, and work, within various social settings in daily life.
	Level 4 <input type="checkbox"/>	いろいろな話題の会話に途中から入って、自分の意見を言ったり普通にやり取りができる。 I can enter unprepared into conversation on a variety of topics, presenting my own views and interacting normally with people.
	Level 5 <input type="checkbox"/>	人間関係に配慮しながら、様々な立場の人となめらかで自然な会話や議論ができる。 I can participate in conversations and discussions smoothly and naturally with people from various walks of life, with consideration for interpersonal relations.
書く Writing	Level 1 <input type="checkbox"/>	誕生日や新年などの時、「おめでとう」「ありがとう」などの決まったあいさつのカードを書くことができる。 For occasions, such as birthdays and the New Year, I can write cards with specific greeting messages, such as "Congratulations" and "Thank you."
	Level 2 <input type="checkbox"/>	簡単な内容の伝言や、友達への短い手紙を書くことができる。 I can write simple messages and short letters to friends.
	Level 3 <input type="checkbox"/>	自分の関心のある話題や旅行での経験や印象などを、短いまとまった文章で書くことができる。 I can write short summaries on topics of personal interest, or descriptions of travel experiences and impressions.
	Level 4 <input type="checkbox"/>	興味のあるいろいろな話題について、読む人にわかりやすく、くわしく説明したり自分の意見やその理由を書くことができる。 I can write clear, detailed texts on various subjects related to my interests, explaining my views and giving reasons to support my opinions.
	Level 5 <input type="checkbox"/>	重要だと思う点を強調した複雑な内容を、読む人にわかりやすい構成にして、手紙や論文が書ける。 I can write letters and essays with a structure that highlights significant points, and which helps the recipient to understand complex content.

3 候補者の教授年数等について Candidate's resume

日本語教授年数 Japanese language teaching experience	期間 Term	機関名 Institution	対象者 Students in class		使用教材 Textbook
			年齢 Age	レベル Level	
合計 In total 年 か月 Years Months ※日本語教授年数が 6 か月未満 5 年以上の方は申請資格がありません。 * Those who have not at least six months and less than five years of experience of teaching Japanese language are not eligible.	From 年(yy) 月(mm)~				
	To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~				
	To 年(yy) 月(mm)				
	From 年(yy) 月(mm)~				
	To 年(yy) 月(mm)				
現在の担当科目 ("日本語") Japanese classes currently taught	科目名 Subject Taught	対象者 Students in class		担当時間数 (週・年) Loading Hours Week/Year	使用教材 Textbook
		年齢 Age	人数 Number		
				週()時間 (per week) 年()時間 (per year)	
				週()時間 (per week) 年()時間 (per year)	
				週()時間 (per week) 年()時間 (per year)	
				週()時間 (per week) 年()時間 (per year)	
現在の担当科目 ("日本語"以外) Subjects currently taught aside from Japanese				週()時間 (per week) 年()時間 (per year)	

日本以外での 日本語教師研修受講歴 (国際交流基金海外拠点によ る研修を含む) Training programs for Japanese language teachers undertaken outside of Japan, including programs of the Japan Foundation	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution	使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)				

日本滞在歴 (国際交流基金での 研修を含む) Previous stay in Japan including Programs at the Japan Foundation	期間 Term	日数 Days	滞在目的・受けたグラント ・当センター研修等 Purpose; Grant Received, Training Programs at the Institute (if any)
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)		
From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			

留学の場合は、留学先機関を明記してください。
If you have studied in Japan, be sure to specify the name of institutions.

○ 授業以外での日本語教育への貢献

Your contribution to Japanese language teaching outside of class activities

授業以外での日本語教育への貢献があれば具体的に記入してください。(例：日本語教師会等での活動、開発した教材、日本語教育についての学会・セミナー発表等)

Please write in the space below, if you are making (or have made) a contribution to Japanese language teaching in your country outside of class activities (For example, your involvement in the Association of Japanese Language Teachers teaching materials that you have developed, papers on Japanese language education that you have presented at academic conferences or seminars, or other activities)

5 申請機関の概要 Outline of the Institution

できれば機関の紹介パンフレットなどを添付してください。

Please attach some general information on your institution (introductory brochure, etc.).

機関及び日本語コースの設立の経緯と歴史 History of the Institution and Japanese Language Course
日本語コースの概要（修学年限、週当たり授業時間数、学習者数等を記入してください。） Outline of Japanese Language Course (state the length of the course, hours of study per week, the number of students)
学年暦（授業の開始月、終了月及び学期区分を記入してください。） Term / Semester (state the beginning and end months of each term or semester)

学生の構成 Attributes of Students

あなたの所属機関について、**A**か**B**のどちらかに✓を付け、その下の設問にも答えてください。

About your institution, Please check ✓ either **A or B**, and answer the following question.

A. 学校教育の場合

Formal Institutional education



生徒や学生について、1つだけ✓を付けてください。
 About students in your institution, please check ✓ one appropriate box.

- 小学生 Primary-school students
- 中学生・高校生 Secondary-school students
- 大学生 University/College students

B. 学校教育以外の場合

Education other than formal institutional education



- 年少者(小・中・高校生を含む) Children
- 成人(大学生含む) Adults

日本語教育スタッフ (候補者を含め全員記入してください)

Staff of the Japanese Language Course, including the candidate.

名前 Name	地位 Position	専任・ 非専任 Full-time or Part-time	年齢 Age	日本語 教授年数 Years of experience as a Japanese language teacher	対象者数 Number of students	週当 たり 時間 数 Hours per week	年時間 数 Hours per year	国際交流基金 日本語教師研修 参加年 Year of participation in JF Training Program for Teachers of the Japanese Language, if applicable

かいがい にほんご きょうしけんしゅうしんせいしよふぞく
海外日本語教師研修申請書付属

Attachment of application form for
training programs for teachers
of the Japanese Language

にほんごうんようりよくじこしんだん
日本語運用力自己診断テスト

Japanese Proficiency Self-Check Test

これはあなたの日本語力を正しく測るためのテストです。

* 問題用紙の最初にある注意を守ってやってください。

* 辞書や教科書を見ないで、一人でやってください。

* テストを受けるのは一回だけです。

正しいテスト結果でないことがわかった場合、採用されていても取り消
されることがあります。

2020

もんだいようし
問題用紙

Question Sheet

ちゅうい
注意 Instruction

- (1) ^{じしよ きょうかしよ}辞書や教科書を見ないで、一人でやってください。

You are strictly requested to work alone without using any dictionaries and references.

- (2) ^{もんだい}問題は、「^{もじ ごい}文字・語彙」(p.3～p.5)と「^{どっかい ぶんぽう}読解・文法」(p.6～p.8)があります。

The test consists of “Writing - Vocabulary” (p.3 ~ p.5) and “Reading - Grammar” (p.6 ~ p.8)

「^{もじ ごい}文字・語彙」は15分以内、「^{どっかい ぶんぽう}読解・文法」は20分以内に問題に^い答えてください。

The time limit is 15 minutes for the “Writing - Vocabulary” test and 20 minutes for the “Reading - Grammar” test.

- (3) ^{こたえ}答は^{かいとうようし}解答用紙(p.9 と p.10)に書いてください。「^{もじ ごい}文字・語彙」と「^{どっかい ぶんぽう}読解・文法」の^{かいとう}解答用紙がそれぞれ1まいずつあります。

Write down your answers on the answer sheet (p.9 and p.10), one page each for the “Writing - Vocabulary” test and the “Reading - Grammar” test.

- (4) ^おぜんぶ終わったら「^{かいとう}解答」(p.12 と p.14)を見て、^{じぶん}自分で^{さいてん}採点してください。「^{もじ}文字・^{ごい}語彙」は25点満点、「^{どっかい ぶんぽう}読解・文法」は40点満点です。

Check your answers on your own using the “Answer” sheets (p.12 and p.14) after completion of the test. The full score is 25 points for the “Writing - Vocabulary” test and 40 points for the “Reading - Grammar” test.

- (5) ^{さいてん}採点したら、^{てんすう}点数を^{しんせいしょ}申請書4 ページに書いてください。

Calculate your test score and write it down in the space on the second page 4 of the application form.

もじ ことば ぶん
文字・語彙 Writing – Vocabulary (25点 15分)

もんだい
問題Ⅰ _____ のことばは どう読みますか。1・2・3・4 から いちばん いいものを一つ えらびなさい。(1×6)

れい にちようび
(例) 日曜日に 洋服を 買いました。

洋服 1 よふく 2 ようふく 3 よそう 4 ようそう

問1 (1)台風は、いま、日本の (2)東にあります。

(1)台風 1 たいふ 2 たいふう 3 だいふ 4 だいふう

(2)東 1 ひがし 2 にし 3 きた 4 みなみ

問2 (1)姉と いっしょに (2)旅行へ 行きました。

(1)姉 1 あに 2 あね 3 おとうと 4 いもうと

(2)旅行 1 りようこ 2 りよこ 3 りよこう 4 りょうこう

問3 おばあさんは (1)近くに すんで いますから、まいにち (2)会えます

(1)近く 1 はやく 2 ほそく 3 ひろく 4 ちかく

(2)会えます 1 みえます 2 いえます 3 あえます 4 かえます

もんだい
問題Ⅱ _____ のことばは 漢字をつかって どう書きますか。
1・2・3・4 から いちばんいいものを一つえらびなさい。(1×5)

(例) パーティーの りょうりは おいしかった ですね。

りょうり 1 食事 2 食物 3 飲物 4 料理

問1 ひるごはんを 食べたら、先生の (1)けんきゅうしつに (2)しつもんに 行きます。

(1)けんきゅうしつ 1 教研究室 2 教学院 3 研究室 4 大学院

(2)しつもん 1 話題 2 質問 3 出席 4 聞分

問2 友だちに (1)あかい ペンを (2)かりました。

(1)あかい 1 青い 2 赤い 3 白い 4 黒い

(2)かりました 1 買りました 2 貸りました 3 変りました 4 借りました

問3 ここで (1)まってください。

(1)まって 1 時って 2 持って 3 特って 4 待って

問題Ⅲ _____ の ところに 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを一つ えらびなさい。(2×3)

(例) テレビの _____ の 中で スポーツが いちばん すきです。

1 ひつよう 2 よやく 3 よほう 4 ばんぐみ

問1 みなさん、このかみを 1まい _____ とってください。

1 まで 2 ずつ 3 しか 4 ごと

問2 明日は ^{あした} テストが あります。_____ 勉強して います。

1 それで 2 それに 3 それでも 4 それから

問3 わたしの 先生は _____ 人です。

1 ねむい 2 きびしい 3 みじかい 4 にかい

問題Ⅳ _____ の ^{ぶん} 文と ^{おな} だいたい 同じ いみの 文は どれですか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを一つ えらびなさい。(2×2)

(例) きのうは 先生の おたくに うかがった。

- 1 きのうは 先生に わからないことを 聞いた。
- 2 きのうは 先生に ごちそうに なった。
- 3 きのうは 先生の ^{いえ} 家に行った。
- 4 きのうは 先生に しまられた。

問1 A:「あさって、やすませて いただけませんか」

B:「あさってですか。 かまいませんよ。」

- 1 休んでは こまりますよ。
- 2 休んでも いいですよ。
- 3 休まないで ください。
- 4 休まないほうが いいですよ。

問2 A:「日本に いる 間に どこに 行って みたいですか。」

B:「きかいが あれば、北海道が いいですね。」

- 1 北海道には 行ったことがあるから 行かなくていい。
- 2 北海道には 行きたい ところがあるから 行くつもりだ。
- 3 北海道に 行きたいが、行けるかどうか わからない。
- 4 北海道に 行きたいので、きかいを しらべている。

問題V つぎの(1)、(2)の ことばの つかいかたで いちばん いい ものを したの 1・2・3・4から 一つ えらびなさい。(2×2)

(例) おおい

- 1 日本には おおい 外国人が すんでいます。
- 2 ここは 車が おおくて あるけません。
- 3 きょうは おおく つかれました
- 4 わたしには おおいの こどもが いて たいへんです。

問1 このあいだ

- 1 このあいだ、あめが ふります。
- 2 このあいだ、あめが ふっています。
- 3 このあいだ、あめが ふりそうです。
- 4 このあいだ、あめが ふりました。

問2 おかげさまで

- 1 A:「こんにちは」
B:「おかげさまで、こんにちは」
- 2 A:「おひさしぶりです」
B:「おかげさまで、ひさしぶりです」
- 3 A:「お元気ですか。」
B:「おかげさまで、元気です。」
- 4 A:「毎日 あついですね。」
B:「おかげさまで、毎日 あついです。」

どっかい ぶんぼう
読解・文法 Reading - Grammar (40点 20分)^{てん}

もんだい
問題Ⅰ () に 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを 一つ えらびなさい。(2×4)

れい あさ
(例) 毎朝、9時() おきます。

1 から 2 に 3 へ 4 で

(1) この りょうりは いい におい() します。

1 が 2 の 3 を 4 で

(2) ここは 夜 10時() すぎると、ほんとうに しずかに なります。

1 に 2 で 3 を 4 から

(3) 父から もらった パソコンを いもうと() こわされました。

1 で 2 が 3 に 4 を

(4) その しごとは、わたし() させてください。

1 は 2 が 3 に 4 を

問題Ⅱ _____ の ところに 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを 一つ えらびなさい。(2×5)

(1) きっぷを _____ ないように してください。

1 なくさ 2 なくす 3 なくせ 4 なくし

(2) かれは いつも おもしろい ことを 言って、みんなを _____。

1 わらわれます 2 わらわせます 3 わらいさせます 4 わらわされます

(3) わたしが せんせいの にもつを _____。

1 お持ちます 2 お持ちになります 3 お持ちください 4 お持ちしましょう

(4) ふるい くるまでも、_____ ^か 買います。

- 1 きれいかったら 2 きれかったら 3 きれいだったら 4 きれいなだったら

(5) これは せんせいが わたしに おしえて_____ ことばです。

- 1 くださった 2 さしあげた 3 された 4 いただいた

問題Ⅲ _____ の ところに 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを 一つ えらびなさい。(2×2)

(1) さむいですから、まどを_____ ください。

- 1 あいて 2 あけて 3 しめて 4 しまつて

(2) ここから ^{とうきょう} 東京まで 3時間ですから、3時の 電車に のれば、6時につく_____。

- 1 はずです 2 つもりです 3 ようにします 4 ことにします

問題Ⅳ _____ の ところに 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを 一つ えらびなさい。(3×2)

(1) A:ワインは いかがですか。

B:ありがとうございます。すこし_____。

- 1 めしあがります 2 いただきます 3 さしあげます 4 くださいます

(2) A:きょう、はやく かえらせて いただきたいんですが。

B:どうしましたか。

A:こどもが ^{びょうき} 病気_____。

- 1 から 2 からです 3 なんです 4 なんですから

問題Ⅴ _____ の ところに 何を 入れますか。1・2・3・4 から いちばん いい ものを 一つ えらびなさい。(4×2)

たなか: さとうさん、おはようございます。きょうも さむいですね。

さとう :ほんとうに さむいですね。ほら、あの こどもも、とても_____ (1)_____。

たなか: さむい 日^ひが つづいて いますから、会社^{かいしゃ}でも、かぜを ひいている
人が 多い^{おお}ですね。

さとう : わたしも 先週^{せんしゅう}、かぜを (2) 。

(1) 1 さむいです 2 さむがります 3 さむそうです 4 さむいそうです

(2) 1 ひいておきました 2 ひいてあります 3 ひいたことがあります
4 ひいてしまいました

問題VI つぎの 文を 読んで、下の 1・2・3・4から ただしい ものを 一つ えらびなさい。(4×1)

[かとうさんの日記]

3月2日(火)はれ

今日、社長^{しゃちょう}に こんどの にちようび、パーティを しますから 1時に 家^{いえ}に 来てく
ださいと 言^いわれた。にちようびは 用^{よう}が あるので 少^{すこ}し おそくなるが、2じごろに
は 行^{こた}けると答えた。ほかに さとうさん、たなかさんも 行く よていだ。社長のお
くさんや、お子^あさんたちに 会^あうのは 本^{ほん}当^{とう}に ひさしぶりだ。前の 日に デパート
に 行くので、そのとき ケーキを かって、もっていこうと 思^{おも}う。

- 1 パーティが はじまるのは 2時ごろだ。
- 2 かとうさんは、社長のご家族^{かぞく}に 会^あうのは はじめてだ。
- 3 デパートに 行くのは 金ようびだ。
- 4 パーティに 行くとき、おみやげに ケーキを もっていく つもりだ。

もんだい 問題 I (1点×6)

例	問1		問2		問3	
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)
2						

問題 II (1点×5)

例	問1		問2		問3
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)
4					

問題 III (2点×3)

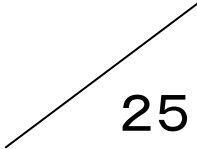
例	問1	問2	問3
4			

問題 IV (2点×2)

例	問1	問2
3		

問題 V (2点×2)

例	問1	問2
2		

もじ・ごい・てん 文字・語彙の点
 25

もんだい
問題 I (2点×4)

例	(1)	(2)	(3)	(4)
2				

問題 II (2点×5)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

問題 III (2点×2)

(1)	(2)

問題 IV (3点×2)

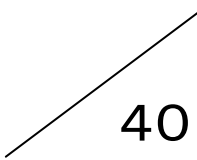
(1)	(2)

問題 V (4点×2)

(1)	(2)

もんだい
問題 VI (4点×1)



どっかい ぶんぼう てん 読解・文法の点
 40

も じ ご い
文字・語彙 Writing-Vocabulary

かいとう
解答 Answer

テストが終わったら、^{うらめん}裏面の解答を見て
^{さいてん}採点してください。

Check your score on your own using answers
on the reverse side of this paper
after completion of the test.

文字・語彙 Writing – Vocabulary 解答 Answer (25点満点^{てんまんてん})

問題Ⅰ (1点×6)
もんだい

例	問1		問2		問3	
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)
2	2	1	2	3	4	3

問題Ⅱ (1点×5)

例	問1		問2		問3
	(1)	(2)	(1)	(2)	(1)
4	3	2	2	4	4

問題Ⅲ (2点×3)

例	問1	問2	問3
4	2	1	2

問題Ⅳ (2点×2)

例	問1	問2
3	2	3

問題Ⅴ (2点×2)

例	問1	問2
2	4	3

どっかい ぶんぽう
読解・文法 Reading-Grammar

解答 Answer

テストが終わったら、裏面の解答を見て
採点してください。

Check your score on your own using answers
on the reverse side of this paper
after completion of the test.

読解・文法 Reading – Grammar 解答 Answer (40点満点)

もんだい
問題Ⅰ (2点×4)

例	(1)	(2)	(3)	(4)
2	1	3	3	3

問題Ⅱ (2点×5)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	2	4	3	1

問題Ⅲ (2点×2)

(1)	(2)
3	1

問題Ⅳ (3点×2)

(1)	(2)
2	3

問題Ⅴ (4点×2)

(1)	(2)
3	4

問題Ⅵ (4点×1)

4
